

徳島県における ICT 戦略の展開

徳島県知事 飯泉嘉門

1 ピンチをチャンスに！

地上デジタル放送への移行(H23.7.24)

区域外波の受信が困難に！

**従来《アナログ》10波
→ 移行後《デジタル》3波の危機！**

一石四鳥の効果

“ピンチをチャンスに！”

「全県CATV網構想」(H14~H23)

後発の利で
光ファイバー網を敷設

① 地デジ対応

② ブロードバンド基盤

③ IP電話網の充実

④ 地域情報の発信

CATV普及率**89.8%**(全国平均**52.3%**)⇒6年連続で**全国1位**

地域課題の解決に「全国屈指の光ブロードバンド環境」を積極的に活用

地方創生の推進



○サテライトオフィスの展開
県内12市町村に59社が進出
80名以上の地元雇用を創出

○情報通信関連産業の集積

- ・コールセンター
- ・データセンター
- ・AI関連企業 等

19社26事業所が立地

4K・8K実証



8K実証地として徳島県が
「東京・横浜・大阪」と共に選定

- ・4K映画祭等を開催
- ・阿波踊りの4Kライブ中継
- ・ローカル4Kチャンネルを放送

放送と通信の融合



美波町から
のお知らせ

トクシマ
さん

今すぐ避
難してく
ださい

テレビとインターネットを融合し
「平時・災害時リバーシブル」で
活用

- ・高齢者の見守り(平時)
- ・テレビに住民の氏名を
表示し避難を指示(災害時)

「マイナンバーカード」で
避難所にチェックイン

働き方改革の推進



○モバイルワークを活用した
「葉っぱビジネス」の展開

○テレワークの導入

- ・モバイルワーク
- ・サテライトオフィス
- ・在宅勤務

2 更なるICT利活用の推進

IoTの実証推進

◆実証モデル事業を実施（H29）



害獣の捕獲用檻をスマートフォンで操作



海況データをスマートフォンで確認し、水産業で活用



センサーにより防災センターの被災状況を診断

H30



ソフトバンク株式会社と「とくしまインダストリー4.0」の推進に向けた包括連携協定を締結

- 一次産業の振興
 - ・スマート農業を実現
 - ・有害鳥獣対策を推進
- 公共施設の強靱化
 - ・無人監視による迅速な対応
- 観光振興、交通渋滞対策
 - ・人口移動データを活用 など



テレワークの推進

◆徳島発！テレワーク実証実験

- 県庁版サテライトオフィス
- 在宅勤務（H27.9～）
- モバイルワーク



「テレワークセンター徳島」「あなんテレワーク推進センター」を設置

- 県民への普及
 - テレワーカー・コーディネーター養成
 - 在宅就業支援
 - 子育て・介護 離職の回避
- 事業者への普及
 - お試しワーク環境の提供
 - 県内企業のテレワーク導入促進
 - ワークライフバランスの実現

3 目指すべき将来像と実現への課題解決《徳島からの提言》

目指すべき将来像

◇情報通信のユニバーサルサービス展開

都市部偏重でなく、人口減少や少子高齢化が進み課題の多い「地方」においてこそ情報通信基盤が確保され、I o Tサービスや自動化技術などにより、生活向上、安全安心、産業振興等が実現されている。

実現への課題解決

◇過疎地の自治体への支援

- ・ 過疎地のI C Tインフラは主に市町村が整備しており、規格面で4 K・8 K・5 Gなどの大容量データ通信が困難なものが多く、今後、更新も迎えるため、国の補助制度に関し、「基盤の再整備」に係る支援を拡充するとともに、「機器の更新」を対象に加えることが必要である。
- ・ 課題が最初に訪れる地方でまず実証実験を行い、それを全国に展開させていくべきである。